

2013年4月4日

新日鐵住金株式会社
(コード番号：5401)
日鐵商事株式會社
(コード番号：9810)

モザンビーク原料炭開発プロジェクトが採掘権を取得

新日鐵住金株式会社(会長兼 CEO：宗岡 正二 以下、「新日鐵住金」)が日鐵商事株式會社(社長：今久保 哲大 以下、「日鐵商事」)と共に合計で 33.3%の權益を保有する「レブポー炭鉱開発プロジェクト(以下、レブポー・プロジェクト)」は、4月3日、モザンビーク共和国政府より同プロジェクトを開発するために必要な採掘権を取得致しました。

レブポー・プロジェクトはモザンビーク共和国テテ州に位置する未開発の原料炭炭鉱で、これまでの探査活動の結果、高品質かつ大規模な露天掘り可能な原料炭の賦存を確認しております。

レブポー・プロジェクトの周辺では既に複数の炭鉱開発プロジェクトが立ち上がっており、モザンビーク原料炭は、世界的に稀有な大規模優良強粘結炭資源として注目されています。

この度、レブポー・プロジェクトが採掘権を取得したことにより、高品位原料炭の新たな供給ソースが確保されることになり、今後炭鉱開発着手に向けた取り組みを加速させ、原料炭安定調達基盤を一層強化することを目指します。

別紙：レブポー・プロジェクト概要、モザンビーク地図

モザンビーク/レブポー・プロジェクト概要

1. プロジェクト所在地及び面積

プロジェクト所在地	モザンビーク共和国テテ州テテ市 ブラジル Vale 社が操業中のモアティーズ鉱区、豪州 Rio Tinto 社とインド TATA 社の合弁会社が操業中のベンガ鉱区、豪州 Rio Tinto 社が探査中のザンベジ鉱区等有望な原料炭鉱区に隣接
鉱区面積	3,860 ヘクタール

2. 探査権保有者: Minas de Revuboe Limitada (現地法人)

新日鐵住金・日鉄商事子会社	33.3% (内、新日鐵住金 23.3%、日鉄商事 10.0%)
Talbot Group 子会社	58.9%
POSCO 子会社	7.8%

3. 推定資源量及び石炭品質

推定資源量	約 14 億トン
石炭品質	賦存原料炭の品質は、豪州優良強粘結炭並みの品質である

4. 沿革・経緯

2004年7月	日鉄商事子会社が 1/3 出資した南ア法人が独占探査権取得
2005～2006年	NEDO の海外炭開発可能性調査補助事業を利用し、初期調査実施
2008年10月	上記南ア法人から Minas de Revuboe Limitada に探査権を移管
2009年11月	Talbot Group が資本参加
2009年	再度 NEDO の海外炭開発可能性調査補助事業を利用し、初期事業化調査実施
2010年5月	POSCO が資本参加
2010年11月	採掘権申請
2010年12月	旧新日鉄が資本参加
2013年4月	採掘権取得

5. 開発計画

開発規模	原料炭 5 百万トン/年
------	--------------

6. 今後のスケジュール

2013年	開発最終計画精査及び投資意思決定、開発着手(工期: 約3年間)
2016年	出炭開始予定

以上

